

# 無農薬栽培！ITで守る

無農薬栽培の田んぼは、虫や病気が害  
虫が発生する条件を探ろうと、NPO  
法人「ピース&ネイチャー」(中央区北  
野町3)と神戸情報大学院大学(同区加  
納町2)が、北区大沢町の田んぼでIT

機器を使った実験に取り組んでいる。  
温度や湿度などの環境変化をセンサ  
ーで測定しデータを収集。異変を素早く  
察知する発生条件を割り出し、未然に  
防ぐ対策を考えていく。(村上真宏)

## NPOと大学教授が協力

**北 区** 同法人代表理事の  
バハラム・イナール  
さん(53)は、中央区北  
野町3には、IT出身で、約30年前に来日。

長男の食物アレルギーをき  
っかけに、食の安全に関心  
を持つようになった。20  
03年に同法人を設立「周  
囲の環境保全を考えると農  
薬は使いたくない」と北区  
大沢町で無農薬農業を始め  
た。

害虫や病気の被害を受け  
る条件を調べるため、IT  
による農業の技術革新を研  
究する同大学院大のマルコ  
ン・シャンドル教授(69)は  
情報システム学に協力を  
求めた。

4月下旬にセンサーや通  
信装置を設置。センサーで  
温度と湿度、気圧、日射量、  
水位を測定し、データを専  
用のコンピュータに送っ  
て蓄積する。短くても半年  
は実験を続け、データの変  
化と病気や害虫発生との相  
関関係を調べる。

イナールさんは「環境に  
優しい農を目指し、IT機

## 田で温度など測定 害虫、病気と関係調査



田んぼの環境変化を測定するIT機器を設置したバハラム・イナールさん(右)とマルコン・シャンドル教授(北区大沢町)

器導入の取り組みが広がる  
よう協力したい」。シャ  
ンドル教授は「後世にも役立  
つようITと農の融合を図  
りたい」と意気込む。